



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER.2-18-12 NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO 169-0051, JAPAN

国際会長主題  
アジア会長主題  
東日本区理事主題  
あずさ部部長主題  
東京西クラブ会長主題

“Yes, we can change 「私たちは変えられる」  
“Action” 「アクション」  
「為せば、成る」 No challenge No fruits  
「未来はそれに備える人のものである」  
「入りたいな」と思われる楽しい例会に

2018年7月号  
NO 502

愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善から離れず、兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れたものと思いなさい。  
ローマの信徒への手紙 12章9節・10節

### 会長メッセージ

### 新年度を迎えて

2018-2019年度会長 本川 悦子

東日本区大会が終わり、区理事が栗本治郎理事から宮内友弥理事に交代しました。

区、部において、役員、委員が交代する中、東京西クラブの会長は、2年続けて、私が務めることになりました。

昨年度はワイズについて理解を深める努力をしました。今年度はワイズの精神を学べるように頑張っていきたいと思えます。

区大会では東京西クラブはブリテン最優秀賞を受賞いたしました。ブリテン発行には、毎月クラブ全員で企画から編集まで携わっています。それぞれの持ち味、得意分野をもって発行にこぎつけます。

ですからブリテン最優秀賞をいただいたことは、今後のブリテン編集だけでなく、すべてのクラブ活動を行うための励みとな

っていくでしょう。

さて今年度の会長主題は、ずばり「『入りたいな』と思われる楽しい例会に」としました。幸い、前年度終わりから、新しく使い勝手の良い例会場が利用できるよくなりました。

「また来たい例会」「クラブに入って一緒にやりたい」と思われる例会とは、どのような例会でしょうか。どうしたらそれが実現できるでしょうか。

ほとんどの会員が70代以上ですから、無理をしないで、ゆったりと、でもしっかりした意識をメンバーで共有して前に進めれば良いと思えます。例会の持ち方の工夫が、1年間を通して皆で考えていきたい課題です。

そして年齢を問わず楽しめる例会を心がけようと思えます。

### ブリテン最優秀賞 東日本区大会で受賞



東京西クラブが、2017-18年度の理事表彰で東日本区最優秀ブリテン賞に輝きました。6月2日・3日、沼津で行われた区大会2日目の表彰式で、本川悦子会長が、壇上で栗本治郎区理事から表彰されました。(写真)

クラブは、事業主任表彰で、「TOF 献金メンバー1人当たりでは3位賞」と各事業部門の達成賞を得ました。

### クラブ役員

会長 本川 悦子  
副会長 高嶋美知子  
書記 石井 元子  
会計 河原崎和美  
担当主事 木川 拓

7月の記録				ニコニコ	0円
在籍者数	16人	メネット	0人	クラブファンド	0円
(内功労会員)	1人	コメント	0人	ファンド残高	151,464円
出席者数	9人	ビジター	2人	ホテ校ファンド	8,282円
メーカー	2人	ゲスト	1人	ホテ校残高	25,654円
出席率	73%	出席者合計	12人	WHO参加者	35人
前月修正	-				

## 7月例会のご案内

## 今月の強調テーマ：キックオフ、YMCA、RBM

あなたが知ってるイタリア人は？と問われて、なんとお答えになりますか。日頃イタリアの芸術、観光地、食事、ブランド品に触れることはあっても、イタリア人を知る機会は、あまり多くはないのではないのでしょうか。

イタリアに20年住んで、ビジネスや生活を通して普段着のイタリア人を知る卓話者をお迎えし、興味深いお話を伺います。友人、知人をお誘いの上、ご参加ください。

日時：7月19日(木) 18:45~21:00

会場：「ウエルファーム杉並」4F 集会室

(杉並区天沼3-19-16 TEL/03-5335-7330)

JR・丸の内線荻窪駅北口から徒歩8分

会費：1,500円(ゲスト・ビジター・メネット)

担当：A班(神崎、竹内、鳥越、村野、吉田)

## HAPPY BIRTHDAY

7日 神崎 清一 16日 河原崎和美

開会点鐘  
ワイズソング  
聖書朗読・感謝  
挨拶・ゲスト&ビジター紹介  
入会式 木川 拓さん  
会食

受付 吉田 明弘  
司会 鳥越 成代

会長 本川 悦子  
一 同  
竹内 隆  
会 長他  
会 長

卓話 “イタリア人との付き合い方”

上松ヒカルさん

ハッピーバースデー  
諸報告  
YMCA 報告  
ニコニコ献金  
閉会点鐘

会 長  
会 長 他  
担当主事・木川 拓  
一 同  
会 長

## — 6月第2例会(事務会) —

日時：6月28日(火)

19:00~21:00

場所：ウエルファーム杉並 4F

出席者：大野、篠原、村野、本川、  
吉田

<報告事項>

- ①6月のデータを確認した。
- ②6月次会計報告を承認した。
- ③YMCA 夏祭り

日時：7月5日(木) 18:30

場所：東陽町センター

実行委員会に高嶋さん、本川さんが出席する。クラブ名入り提灯1燈を協力する。

- ④あずさ部代々木の杜評議会

日時：7月14日(土) 13:00

会場：国立オリンピック記念  
青少年総合センター  
402号室

会費：1,000円

<協議事項>

- ①7月第2例会

日時：7月26日(木)

19:00~21:00

会場：ウエルファーム杉並

- ②8月納涼例会

日時：8月16日(木)

19:00~21:00

会場：担当のB班から役員会で協議することを要請され、候補を決め、B班が会場と折衝することにした。

- ③8月第2例会

日時：8月23日(木)

19:00~21:00

場所：ウエルファーム杉並

- ④新担当主事・木川拓さんの入会式を7月例会で行う。バッジ、フレッシュマン・ウエルカム・キットは書記が取り寄せる。

- ⑤新年度の班編成と月当番

(括弧内数字は、月)

A班：吉田、鳥越、高嶋、竹内、  
神崎 (7・10・1・4)

B班：神谷、石井、河原崎、木川  
(8・11・2・5)

C班：山田、大野、村野、篠原  
(9・12・3・6)

- ⑥2017-18年度クラブ会計報告

中間決算作業を行った。7月の役員会に、ファンド類の会計報告とともに提出する。

(書記代理・篠原文恵)

## 卓話者紹介

## 上松ヒカル(うえまつ・ひかる)さん

1999年に渡伊、現在は、イタリアの広告代理店・メッティ社で通訳、翻訳、編集を行っておられます。イタリアに住むきっかけとなったのは、夫君・上松弘樹さんが独身時代メッティ社でグラフィックデザイナーをされて帰国。結婚したばかりの時に、同社から「もう一度一緒に仕事をしよう」との招きがあり、決意されたそうです。ヒカルさんは、日本時代には、主に辞書をつくる出版社で編集などをされていました。

## 会費納入のお願い

半期分の会費を例会に持参するか、下記のクラブ口座に振り込みでお願いします。

(会計・河原崎和美)

みずほ銀行方南町支店

普通 8027928

東京西ワイズメンズクラブ



今年の奨学生・ガーさん(右)と本川会長



新役員就任式。河原崎会計、本川会長、高嶋副会長の宣誓(右から)

## － 6 月例会報告 －

6 月例会が 6 月 21 日、「ウエルファーム杉並」第 1 集会室で行われました。

まず、クラブが YMCA サポートの主眼としている国際ホテル専門学校の私費留学生奨学金贈呈式があり、ホテル学校・小畑貴弘校長の紹介後、女子学生ブイ・タイン・ガーさんに奨学金が本川悦子会長から贈られました。

ブイさんはベトナム・ハノイからの留学生。東京 YMCA にほんご学院で学び、日本語能力検定 2 級を取得後、ホテル専門学校に入学、現在、ホテルシャングリラ東京で実習。同ホテルに就職が内定しているそうです。巧みな日本語でにこやかに挨拶と謝辞を述べられました。

引き続き、クラブ定期総会が行われて 1 年間を総括、評価、特に区大会でブリテン最優秀賞受賞を全員で喜びあい讃えあいました。「これはクラブ全員が毎月取材、原稿執筆、編集に携わった賜物」と本川会長。

次いで役員交代式が行われました。毎回ながら国際協会に定められている式辞の、役員の方質を表す I で始まる言葉の意味を自分のものとして受け止めました。その後の懇談ではホテル学校のサポート方法などや、区の表彰のあり方等意見の交換がありました。

宮崎純担当主事の後任、ホテル学校の木川拓室長が、小畑校長から紹介され、ご本人の挨拶がありました。

竹内隆さんの入院の報にお見舞いのカードに寄せ書きをして会を閉じました。

(山田利三郎)

出席者:<メンバー>大野、神谷、河原崎、高嶋、鳥越、本川、村野、山田、吉田、<MU>石井・篠原(5 月役員会)、神崎(YMCA 業務)、<ビジター>小畑貴裕ホテル学校校長、<ゲスト>ブイ・タイン・ガーさん(ホテル学校生)

## 新担当主事に木川拓さん

担当主事の宮崎純さんに代わって、7 月 1 日から、木川拓(きかわ・たく)さんとなります。東京 YMCA 国際ホテル専門学校の広報・入学相談室室長です。

宮崎さんは、2016 年 4 月から担当され、クラブ 40 周年事業、例会卓話、YMCA 報告などをサポートいただきました。

## 木川新担当主事の自己紹介

この度、担当主事になりました木川拓と申します。

1975 年東京生まれ、今年 43 歳。ホテル学校卒業後は開業ホテルやクルーズ専門旅行会社で勤務し、現在はホテル学校広報・入学相談室室長として 9 年目を迎えます。

初めての事で至らぬ点も多いかと存じますが、東京西クラブの皆様とご一緒させて頂く時間を大切に、自らの役割に従事して参ります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## ブリテン受賞の喜び

区大会 2 日目の各賞発表で、クラブがブリテン最優秀賞に選ばれました。その瞬間まで誰も予想していなかったことなので、大変うれしく、本川会長の受賞の様子に拍手を送りました。

クラブのブリテンの編集は、2005 年 8 月から、4 人の編集委員(現在は 3 人)が毎月交代で担当し、最終的に私がまとめるシステムになりました。

幸いインターネットが普及して、相互の連絡方法が簡便になり、ワード画面に張り付ける作業に変わり、クラブメンバーの総力で発行を続けてきました。

他クラブでは近年、割り付けが素晴らしく、当方は悲しいかな素人なので、ともすればマンネリになりがちだった点は今後の課題でもあります。

さらなる努力を続けて行きたいと思います。(2005~2018 ブリテン・エディター 篠原文恵)

## WHO、11 月は高尾山

WHO の 7 月、8 月は、夏休みです。11 月 20 日(火)には高尾山を予定し、現在 30 人を超える参加意向があります。

往復ケーブルカーを利用して起伏が少なく道幅も広い表参道を歩きます。年配者、幼児も登っています。

しかし、予想外の出来事に備えてチームワークの良いリーダー陣を揃えたいと思います。応援をお願いします。

## 東日本区大会報告

第21回東日本区大会が、6月2日・3日、沼津市プラサヴェルデで、沼津クラブのホストで開催されました。参加者は、例年を上回る480人でした。クラブからは、石井・大野・神谷・神谷M・神崎・篠原・高嶋・鳥越・本川・村野・吉田さんが参加しました。

初日のオープニング。地元、飛龍高校和太鼓部の力強い演奏は、外界と隔てたワイズの世界を作ってくれた。開会宣言と点鐘、開会セレモニー。ホストクラブ代表の歓迎挨拶と頼重秀一沼津市長の来賓祝辞は、地元愛。メモリアルアワーでは、奉仕に尽くされた方々の死は美しいと感じた。

東日本区アワーの栗本治郎区理事の年度報告は、各部に設置を呼びかけたエクステンション委員会の活動が動き出したことへの安堵感があった。

東日本区奈良傳賞は持田二郎さん(東京)と倉石昇さん(千葉)。

まだ復興途次にある東日本大震災、九州北部豪雨の復興支援の報告と支援継続が望まれた。

記念講演は、地元出身のバルセロナ五輪女子平泳ぎ 200m 金メダリストの岩崎恭子さんの「幸せはいつも自分でつかむ」。14歳でシンデレラとなった岩崎さんのその後の26年間、そして今を、明るく語った。

懇親夕食会では、鏡開きなどがあり、かなり賑わったところで、東西日本区訪問のためにカナダから来日した BF 代表、Todd Robinson さんと Karren 夫人の挨拶があった。

部対抗出し物ではあずさ部勢はステージから溢れるほど。恵まれているなどと思った。

ホストクラブのメンバーが野球場のビール売り子と同じように容器を背負い、生ビールを注いで回ったのはご愛敬だった。

2日目は聖日礼拝で始まった。日本キリスト教団沼津教会の宮



区大会終了後、会場にてクラブとペンタゴンDBCの参加者

本義弘牧師は、「信仰は外側ではなく内側を変える。変わった内側が外側を変える」と説いた。

再び日本区アワーで事業主任、委員長報告、各種表彰。いつもながら区事業主任の仕事が多すぎると感じた。クラブはすべてに及第点を求めるのではなく、何かにこだわり、それが地域に認められることが必要と感じた。

青木一芳・元国際会長の司式で区理事就任式が行われ、第22代宮内友弥理事(東京武蔵野多摩)が誕生。新年度役員への引継ぎ式が行われた。

宮内新理事は、所信表明で、ワイズの問題点を挙げ、改革への意欲とワイズの理念を述べ、行動のベースとして「サーバントリーダーシップ」を語った。

ホストクラブへの感謝と、来年、東京での再会を口々に、閉会となった。(吉田明弘)

### 区大会、私のハイライト

\* 私は会長なので、年次代議員会に出席しました。在京会長会より緊張しましたが、東日本区全体が見えてとても参考になりました。(本川悦子)

\* 飛龍高校の皆さんによる和太鼓の凛々しさ、力強さに感激、アナウンスも素晴らしく華やかなオープニング、印象深い大会になりました。(篠原文恵)

\* バナーセレモニーでの思い。重責を担われたあずさ部長・大野貞次さんと、クラブ会長の本川悦子さんの入場時、いろいろな思い

がこみ上げ胸が熱くなりました。(鳥越成代)

\* オープニングの沼津学園飛龍高等学校の和太鼓の音、メモリアルアワーでの富士クラブ・櫻村弘子さんとのお別れが心に残った。(村野絢子)

\* パワーポイントによる部長報告作成に苦戦した。無事終わりそして役員交代式のバッジ交換で1年の勤めが終わりホッと胸をなでおろす思い。(大野貞次)

\* 晩餐会で各部が出し物を演じた。あずさ部は、『あずさの道』の二部合唱。上品。まとまっていたのは東新部でした。(石井元子)

\* 例年よりも参加者が多かった。講演も良かった。何よりも理事表彰でブリテン最優秀賞が嬉しかった。(高嶋美知子)

\* ブリテン最優秀賞受賞は快挙でした。受賞のための登壇者が会場に居るか確認のため係の方が右往左往していたのが印象的でした。(神谷幸男)

\* あずさ部以外の方々とも1年ぶりにお会いすることができて大変嬉しく思いました。しかしお会いできなかった旧友もおられ、少々寂しい気がしました。

神谷雅子(幸男代筆)

\* 東日本区大会は2回目の参加。知っている方が増えた。プログラム以外でも交歓。楽しいワイズライブに感謝!(神崎清一)

\* どことなく手作り感があって、居心地がよかった。沼津クラブは、ワイズメンの好み、性癖を知っています。(吉田明弘)

## ☆☆ インタビュー ☆☆ 森本 武さんに聴く

\* \* \*

森本武さん（札幌北）は、元大阪サウスクラブのメンバーです。20年前から北海道倶知安におられます。（吉田明弘）



—森本さんは、ウチの山田利三郎さんが日本区理事をされた年度と次の年度、区のトラベルコーディネーター（TC）をされましたね。

「そう、38歳位でしたが、貴重な経験をさせてもらいました」  
—あの年、台中のサイクリストのワイズメンが来日して。札幌から稚内までサイクリングすると言うので、森本さんは「山中でクマに出会ったらどないするんや」と心配していました。その人が、突然、それまでの大阪の仕事をやめて北海道に行くというのでびっくりしました。準備されていたのですか。

「仕事引退後の第二の人生は、今までとはまったく関係ない場所に住みたいと、アメリカ、カナダ、オーストラリア、アジア諸国を行脚していました。北海道に行った時、家内がニセコのログハウスが気に入って購入しました。目前に羊蹄山があり、自然の中で暮らす生活に憧れました。倶知安もニセコも町名ですが、周辺を含めてニセコエリアと言います」  
—仕事はやめられた。

「50歳で引退。5年間、引継ぎをして、おさらばしました。仕事の話がすれば長くなります。商いは面白く、またやってみたいと思

っています。仕事はしていませんが、本拠は、今でも大阪です。戻った時には、大阪のクラブの例会にビジターとして、寄せさせてもらっています」

—住んでみて驚いたことは。

「当時は、携帯はNTTしかダメ、光ファイバーもありませんでした。それと雪かきですね。2mもの積雪があり、年に3、4回やります。これは大変です」  
—サイクリングは、森本さんもやられるそうですね。

「実は、自転車好きなのです。ニセコでも、今は外国人の方々も沢山走っておられます。私も台湾に行き、よく走りました。私の台湾名は『夢職遊人・森本』です」  
—ワイズは、やめず、札幌北クラブに入られた。どなたの誘いでしたか」

「札幌クラブか、札幌北クラブの方でした。わーという感じで」  
—“サウス”と“北”とでは、ずいぶん違いましたか。

「違いますねえー。札幌北クラブは、メンバーは少なく、全員がクリスチャンです。私もクリスチャンですが、これには驚きました。もちろん例会は、極めてきちんと行われています。合同例会も楽しみです」

—ペンションを開業されたとか。

「ペンションではなく、今、コンドミニウムを持っています」  
—例会には、倶知安から札幌まで余市や小樽を通り越して出席するのですか。

「車で往復します。それでも夏は片道2時間、冬3時間。雪のために行けないことがあります」  
—小樽に、かつてはクラブがありました。再生するといいですね。

「そう願っています。が、北海道での新クラブ設立は、なかなか難しいようです」

—森本さんはYMCAのリーダーOBですよね。リーダーOBにはワイズになじめないと言う人が多いのですが。

「ワイズ、YMCAは次の担い手を育てるところだと思っています。リーダーは現場主義ですが、YMCAの基本理念を共に学ぶ時間があれば良いかなと思っています」

—子どもの頃は、何になりたかったですか。

「商人です。父は箸の販売業でした。当時は手作りだったので奈良の職人の家にも連れられて行きました。10歳のころ、後継者の兄が急逝しました。ワシに継がしてくれと、父に頼んだそうです。私は覚えていませんが」  
—学校を卒業して、すぐ家業に。

「いえ、丁稚奉公のつもりで、外車の営業をやっていました。当時は外車を持つ人は少なく、これも面白く、いい経験でした。次の機会に話します」

—ワイズとの接点は。

「大阪サウスクラブの石原信三さんに勧められました。20歳の時、石原さんの娘さんたちとサンフランシスコに行ったことがありました。私でも何か役に立つならと答えました」

—素晴らしい方に見込まれましたね。奥様百々子さんは、早い時期の日本区メネット事業主任でした。森本さんは何歳でした。

「27歳でした」

—クラブにすぐなじめましたか。

「何年間か無言で、出席しているだけでした」

—これまでのワイズでの一番の思い出は。

「大阪サウスクラブの活動を一生懸命出来た時です」

—仕事など何かをやるときの座右の銘みたいなものは。

「『分かち合い』です」

—北海道ならではの、クラブのありようは。

「残念ながら、今は例会出席が精一杯です。しかし例会に通うことは、一生涯、学校に通うようなものだと思います」

—ありがとうございました。

## シゲとあーやの子育て⑫ 村野絢子

いつの間にか時は過ぎ、2年前の4月10日、私たちは結婚50年の金婚式を迎えた。

丁度4女Yが帰国して子供5人が揃い、都合のついた伴侶や孫たち15人がレストランに集まり食事会を開いた。食事がすんで花束と記念旅行をするようにお祝い金をプレゼントされた。「使い込まないでね」と銀行に預けたのがいけなかった。今年4月に4女

のYが帰国した折「ところでどこに行ったの？」と聞かれ、「忘れていた、まだ行ってない」と間抜けな返事をした。丁度その日の朝刊に「美しきイタリア湖水地方と世界遺産ドロミテ街道2つのヨーロッパアルプスを巡る8日間」とうたったツアー募集が載っていた。「6月8日からなら行けるわね。あなたは?」「その日なら行ける」と旅行社に申し込んだ。私はミラノー東京往復直行便とあったので、ミラノに行くこと勘違っていたが、雪を頂く山々に浸

るすばらしい2年遅れの記念旅行であった。欠けの多い私たちに過分な子どもたちからのプレゼントであった。

今は子どもたちがそれぞれ子育ての真最中であるが、よい時も、困ったときも見守っていて下さる方の存在に気付いて欲しいと願っている。神様のなさることは時にかなって美しいとしみじみ感じている。

★ご好評をいただきました『シゲとあーやの子育て』は、今回を持って最終回となります。

### 深大寺・神代植物園

#### 6月のWHOウォーキング

第220回WHOウォーキングで6月23日、調布の深大寺、神代植物園を歩きました。午後から強雨との予報にもめげず、参加者は35人。

今回のコースの深大寺と神代植物園とは隣接し、かつてはどちらも深大寺の境内地だったのですが、前者は立川段丘面にあり、国分寺崖線(ハケ)の水が豊富、後者は武蔵野段丘面にあり、水が乏しかったところ。京王線調布駅からバスで深大寺付近へ。

その名に豊富な湧水という意のある青渭神社から水生植物園へ。広がる谷戸を木道で歩きます。高台が小田原北条氏の深大寺城跡。今は空堀と土塁に面影を残すのみ。ソバの花と、早くも咲いているハギの花は印象的でした。

深大寺は、東京の寺院では、台東区の浅草寺に次ぐ722年の創建。東京西部に住む者にとっては何度か訪れることはあっても由来を詳しく聞く機会はありません。今回は調布市に3人の案内ガイドを予約していました。

これは大成功。水神信仰に始まり、天台宗に代わり元三大師が信仰の中心となる経緯、山門、梵鐘、堂宇の由来、境内の樹木など詳しく説明してもらいました。

今回は、国宝である飛鳥時代の



国分寺崖線(ハケ)の湧き水を利用した神代植物園・水生植物園

作、白鳳仏も拝観しました。

1時間の見学を終え、参道に20軒ある蕎麦屋に分かれて、思い思いに名物のソバを味わいました。

ハケの坂道を登り、深大寺門から神代植物園に入り、広い園内をゆっくり回り、緑を堪能しました。雨傘も気になりません。最後は大温室へ。ベコニア館と熱帯スイレンが見どころ。ベコニアの強烈な赤が胸に焼き付き、熱帯スイレンの形と色の清楚さが、なぜか心に沁みました。正門で解散しました。(吉田明弘)

ワイズ関係の参加者は、吉田(東京西)、中澤・藤江(東京たんぼぼ)、関(石巻中央)、樋口(東京グリーン)でした。

7月、8月は夏休み。9月は、等々力溪谷と周辺を歩きます。11月に計画している高尾山には、

30人の参加意向があり、対応を検討中です。

#### 編集後記

区大会の各種表彰の時間。わがクラブは、今年も目標達成賞くらいだろう思いながらも、何かブリテンの埋め草にでもと、カメラを持って最前列に座っていました。

突然、ケイタイが鳴り、神谷幸男さん。カメラを置いてホールの外に出ると「ブリテン優秀賞に決まったけど、会長が会場にいない」とのこと。代わりにエディターの篠原さんに登壇を頼もうと、ホールに戻ると、壇上には本川会長が立っていました。

というわけで、受賞の瞬間を撮り損ねました。P1に掲載した写真は、大会カメラマンから良い写真をいただきました。(AY)